

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年03月02日

計画の名称	弘前市の下水道における防災・安全対策の実現											
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	弘前市											
計画の目標	老朽化した管渠及び処理場・ポンプ場の機械・電気・建築設備の長寿命化（長寿命化対策・更新）を行い、効率的な下水道施設の管理運営を図るとともに、弘前市における継続的な水質保全の確保と安全・安心・快適な暮らしを実現する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	949	A	949	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	弘前市下水処理場の改築更新達成率0%（H28当初）から100%（R2末）に増加させる。 下水道ストックマネジメント計画に基づく改築更新の達成率 改築更新済みの設置個数（個） / 改築更新をすべき設置個数（個）	0%	100%	100%
2	桜ヶ丘中継ポンプ場の改築更新達成率0%（H28当初）から100%（R2末）に増加させる。 下水道ストックマネジメント計画に基づく改築更新の達成率 改築更新済みの設置個数（個） / 改築更新をすべき設置個数（個）	0%	100%	100%
3	弘前処理分区の改築更新達成率43%（H28当初）から80%（R2末）に増加させる。 下水道ストックマネジメント計画に基づく改築更新の達成率 改築更新済みの管渠の延長（km） / 改築更新をすべき管渠の延長（km）	43%	62%	80%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

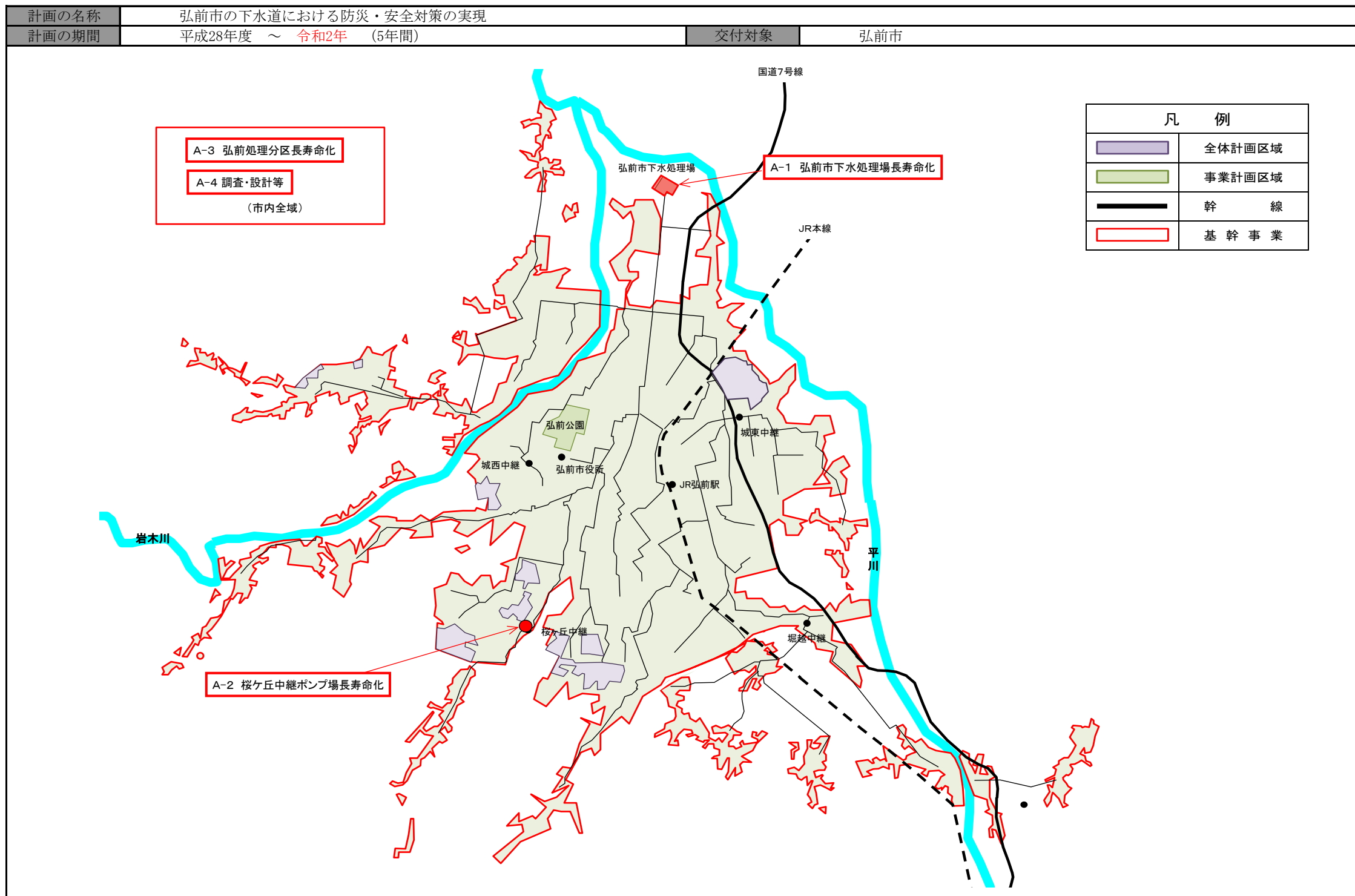
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	終末処理場	改築	弘前市下水処理場長寿命化(A-1)	塩素滅菌棟、放流柵、受電設備	弘前市						28		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-002	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	ポンプ場	改築	桜ヶ丘中継ポンプ場長寿命化(A-2)	ポンプ(2.4m3/分)、機械・電気・建築設備	弘前市						226		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-003	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	-	改築	弘前処理分区長寿命化(A-3)	管渠更生 L=3.3km、人孔蓋更新 N=156箇所、マンホールポンプ改築 N=16箇所 等	弘前市						444		策定済
		ストックマネジメント 種別1：管渠(汚水)、管渠(合流)																	
	A07-004	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	調査・設計等(A-4)	長寿命化調査・設計等	弘前市						251		策定済
		ストックマネジメント 種別1：終末処理場、ポンプ場、管渠(汚水)、管渠(合流)、管渠(雨水) 種別2：全種																	
											小計						949		
											合計						949		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	180	58	39	77	117
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	5
交付額 (c=a+b)	180	58	39	77	122
前年度からの繰越額 (d)	6	0	0	0	56
支払済額 (e)	186	58	39	21	153
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	56	25
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	56	25
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	72.72	14.04
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由				受電設備の仕様検討に不測の日数を要したため。	事業計画の再検討のため。

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)



事前評価チェックシート

計画の名称： 弘前市の下水道における防災・安全対策の実現

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 上位計画に基づき弘前市公共下水道事業計画を策定し、事業促進を図っていることから整合している。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	
I. 目標の妥当性 ストックマネジメント計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ストックマネジメント計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は、下水処理場、管渠及びポンプ場における長寿命化対策状況を量的にとらえており、効率的な管理・運営に適した数値である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 下水処理場、管渠及びポンプ場における長寿命化対策により、ライフサイクルコストの縮減を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 地域毎に住民説明を行うなどし、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

他事業である集落排水事業、個人設置型合併処理浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指している。また、下水処理場施設見学や河川清掃美化運動などにより、下水道の啓発活動も行っている。

○